

# 第26回 諸子百家の思想

## 1 諸子百家の思想

- ・春秋戦国時代は、それまでの秩序や価値観が崩壊した時代であった。
  - ・諸侯は、国を強くするために実力本位で優秀な人材を求め、身分にとらわれない積極的な人材登用を行った。
- ( ) と呼ばれる多くの思想家や学派が生まれた。

< >

( ) …人の内面にある道德性である「 」の実践と、その道德性を外に示す礼を説いた。



孔子廟

世界中にあるが、故郷の曲阜にあるものが有名。

・孔子の言行を弟子がまとめたものとして『 』がある。

・また孔子が編集したものとして、魯の国の年代記である『 』がある。

→儒家の主要なテキストになり、春秋時代という名前の語源にもなった。

( ) …人間の本性は善であるので、武力による政治（霸道）ではなく、仁や徳の政治（王道政治）を行えばよりよい社会が築けると説いた。

※これを「 」という。

→もし君主に仁がなくなれば別の者が君主になるべきであるとし、

( ) をとなえた。

※平和的に交替する禪譲と、武力によって交替する放伐という2つの方式がある。

( ) …戦国時代末期の思想家。人間の本性は悪であるので、社会の秩序を維持するためには、人々を礼で矯正する必要があると説いた。

※これを「 」という。

< >

( ) …春秋時代末期の思想家。孔子の仁を差別的な愛として批判した。

無差別の愛である「 」、それによってみんなが利益を受け

るという「交利」、戦争を否定する「 」を説いた。



孟子

孟子は日本で最も受け入れられた思想家のひとりだろう。ただし易姓革命の考えだけは、日本人にはどうしてもなじまなかったようだ。



荀子

孟子とは正反対の思想に思えるが、実はよく似ているのである。荀子について興味があれば、北見先生に聞いてみよう。



映画『墨攻』

原作は日本人が描いたマンガで、映画化もされた。墨家の教えにしたがって、攻められる小国を守るとうする墨家の人物が主人公。

- < >  
 ( ) …儒家の思想を人為的なものとして批判し、「  
 ( ) …老子の思想を継承し、自由に生きることを説いた。  
 →後に他の思想と融合し、( ) を生み出した。

- < > (荀子の影響を受け、人間を法で縛ることで秩序を維持しようとした)  
 ( ) …秦の( ) に仕えて改革(変法)を行った。  
 →秦の富国強兵に貢献したが、悲劇的な最後を遂げた。  
 ( ) …荀子の弟子であり、法家の思想を完成させたが獄死した。  
 ( ) …秦の始皇帝に仕え、丞相として統一政策を補佐した。

- < >  
 鄒衍 …陰陽五行説を説き、王朝交代理論などにも影響を与えた。



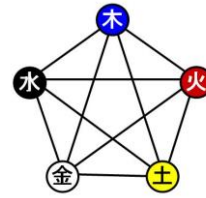
莊子

「胡蝶の夢」の話が有名。「はたして私が蝶になった夢を見たのか、蝶が私になった夢を見ているのか…」



商鞅

最後は自分の作った法律によって、車裂きの刑にあった。これは首と両手足に縄をつけ、牛に一齐に引っ張らせてバラバラにするという処刑である。



陰陽五行

森羅万象を陰と陽に分け、全ての物の変化や循環は五行から構成されているという考え。難しいが、現代にも影響を与えている。

- < > (弁舌のプロであり、特に外交策を論じた)  
 ( ) …強大な秦に対して、6国が同盟を結ぶ( ) を説いた。  
 ( ) …その6国による同盟を崩す、( ) を説いた。  
 ※縦横家の策は、『  
 』という本にまとめられている。

- < >  
 ( ) …兵法家の孫武が書いたとされる。戦争における戦術論を説いたが、国家経営や人間の生き方などについても触れている。  
 呉子(呉起) …兵法家で、楚の宰相となった。

- < >  
 公孫竜 …「白馬は馬にあらず」と説き、概念と実体の調和を論理的にはかろうとした。

戦国大名の武田信玄は、『孫子』の一節をそのまま旗に用いた。これが有名な風林火山だが、実はもう少しだけ長い文章である。

- < >  
 許行 …農民の立場から農業の重要性を説いた。

掠疾如風  
 徐動如林  
 山侵